

○平成 30 年度不祥事ゼロプログラム検証結果

(評価 A : 目標達成 B : ほぼ目標達成 C : 不十分)

取組課題		目標	行動計画		目標達成状況
1	法令遵守意識の向上	常に公務員の自覚をもち、信用失墜行動を未然に防止する。	①	コンプライアンスマニュアル等を活用し、社会人・公務員としての意識啓発を行う。	A
			②	職員同士の円滑なコミュニケーションを図り、風通しのよい職場とする。気に係ることを放置せず、報告・相談・連絡を徹底する。	B
2	わいせつ・セクハラ行為防止	人権意識を高めセクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	①	生徒の連絡先等の収集手続き、生徒との SNS 等の利用禁止を徹底する。準備室の適切な使用を徹底する。	A
			②	セルフチェック等の啓発資料を活用し、自分の言動・行動を振り返り意識啓発を行う。	A
3	体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導を未然に防止する。	①	体罰の禁止や人権意識を持った生徒対応を徹底し、教員間の相互チェックが働く、組織的な体制を整える。	A
			②	「校内人権窓口」の生徒への周知を図り、生徒が相談しやすい態勢づくりを目指す。	A
4	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理、調査書発行等のミスを未然に防止する。	①	成績処理、調査書・進路関係書類発行にあたっては、マニュアルに沿って業務を行ない、複数チェック等、組織的な対応とする。	A
			②	入力・点検等では、複数対応、複数点検とし、誤りの未然発見に、努める。	B
5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に取り扱い、誤配付誤廃棄を防止する。	①	啓発資料やチェックシートで絶えず振り返り点検を行い、意識啓発を行う。	A
			②	個人情報は原則持ち出し禁止とする。持ち出す場合は「個人情報持ち出し許可願」による申請など、手続きの徹底を図る。	A
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法	法規遵守を徹底し交通事故、飲酒運転を未然に防止する。	①	事故事例や啓発資料を活用し、交通事故・飲酒運転防止の意識啓発を行う。日頃より、余裕ある行動を徹底する。	A
			②	飲酒を伴う場合、車（自転車）の使用厳禁を徹底し、職員間での相互チェック体制を整える。	A
7	業務執行体制の確保等	不適正な業務執行を未然に防止する。	①	日ごろから情報を共有し、気になることはそのままにせず、声をかけ合い、協力して業務を遂行する。	A
			②	県費（私費）備品について、管理状態等、定期的に点検・確認する。	A
8	会計事務等の適正執行	公費・私費・現金管理に関する不祥事を未然に防止する。	①	「私費会計基準」「私費会計事務処理の手引」の理解を深め、適切な会計処理を行う。会計担当者に適宜指導助言を行い、不適正処理を防止する。	A
			③	年 2 回会計監査を実施し、点検、確認を行う。	A
9	入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務に係る事故不祥事の発生を未然に防止する。	①	入選マニュアルの十分理解し、それぞれの業務分担、業務内容を理解する。小さなミスが多大な影響を生むことから、業務の特殊性・重要性を徹底する。	A
			②	点検、入力等、業務はすべて複数対応とし、相互に声出し確認する等、組織的な事故防止体制を整える。	
10	服務規律の確保	教育公務員としての意識向上を図る。	①	公務員としての服務規程等を理解し、休暇、兼業兼職等について必要な手続きを遺漏なく行う。	A

○平成30年度不祥事ゼロプログラムの達成状況と平成31年度に取り組むべき課題（学校長意見）

事故防止研修会を原則月 1 回開催し、職員の意識を継続して保つことができた。概ね目標を達成することができた。次年度も引き続き、啓発資料等を活用し、職員が主体となった事故防止研修会を計画して、職員間で相互に注意し合える環境づくりを目指したい。